

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1 9 9 9 年 2 月 1 8 日

出 願 番 号

Application Number:

平成 1 1 年 特 許 願 第 0 4 0 0 2 2 号

出 願 人

Applicant (s):

ミノルタ株式会社

jc678 U.S. PTO

09/506453



02/18/00

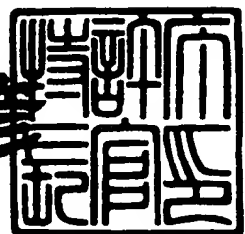
CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1 9 9 9 年 1 2 月 2 4 日

特 許 庁 長 官

Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出 証 番 号 出 証 特 平 1 1 - 3 0 9 0 3 9 2

【書類名】 特許願
 【整理番号】 161248
 【提出日】 平成11年 2月18日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 G06F 3/12
 【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビ
 ル ミノルタ株式会社内
 【氏名】 伊藤 敦史
 【特許出願人】
 【識別番号】 000006079
 【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号大阪国際ビ
 ル
 【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社
 【代理人】
 【識別番号】 100062144
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 青山 葆
 【選任した代理人】
 【識別番号】 100086405
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 河宮 治
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 013262
 【納付金額】 21,000円
 【提出物件の目録】
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808001

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データ処理装置から送信されてきた送信元の情報が付された印刷 j o b 信号に基づいて印刷を行うようにした印刷装置において、

印刷を許可された印刷 j o b 信号の送信元を登録する登録手段と、

データ処理装置から送信されてきた印刷 j o b 信号を受信し、該印刷 j o b 信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、

上記送信元が登録されているときに上記受信した印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】 上記判別手段で送信元が上記登録手段に登録されていないと判別されたときに上記印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段を更に備えた請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 3】 上記判別手段で送信元が上記登録手段に登録されていないと判別されたときに上記印刷 j o b 信号を保存する保存手段と、

印刷を許可されていない送信元からの印刷 j o b 信号を受信したことを知らせる告知手段と、

使用者の印刷指示に応じ、上記保存手段に保存された印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行する印刷手段と、

使用者の廃棄指示に応じ、上記保存手段に保存されている印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段とを更に備えた請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 4】 複数のデータ処理装置と、上記データ処理装置の 1 つから送信されてきた送信元の情報が付された印刷 j o b 信号に基づいて、印刷を行うようにした印刷装置を備えた印刷システムにおいて、

印刷を許可された印刷 j o b 信号の送信元を登録する登録手段と、

上記印刷 j o b 信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、

上記送信元が登録されているときに上記受信した印刷 j o b 信号に基づいて印



刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする印刷システム。

【請求項 5】 上記登録手段を上記印刷装置に備えた請求項 4 記載の印刷システム。

【請求項 6】 上記登録手段を上記データ処理装置に備えた請求項 4 記載の印刷システム。

【請求項 7】 上記判別手段を上記印刷装置に備えた請求項 4 記載の印刷システム。

【請求項 8】 上記判別手段を上記データ処理装置に備えた請求項 4 記載の印刷システム。

【請求項 9】 上記判別手段で送信元が上記登録手段に登録されていないと判別されたときに上記印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段を更に備えた請求項 4 記載の印刷装置。

【請求項 10】 上記廃棄手段を上記印刷装置に備えた請求項 9 記載の印刷システム。

【請求項 11】 上記廃棄手段を上記データ処理装置に備えた請求項 9 記載の印刷システム。

【請求項 12】 上記判別手段で送信元が上記登録手段に登録されていないと判別されたときに上記印刷 j o b 信号を保存する保存手段と、

印刷を許可されていない送信元からの印刷 j o b 信号を受信したことを知らせる告知手段と、

使用者の廃棄指示に応じ、上記保存手段に保存されている印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段とを更に備えた請求項 4 記載の印刷システム。

【請求項 13】 上記保存手段を上記印刷装置に備えた請求項 12 記載の印刷システム。

【請求項 14】 上記保存手段を上記データ処理装置に備えた請求項 12 記載の印刷システム。

【請求項 15】 上記告知手段を上記印刷装置に備えた請求項 12 記載の印刷システム。

【請求項 16】 上記告知手段を上記データ処理装置に備えた請求項 12 記



載の印刷システム。

【請求項 1 7】 印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

印刷すべき印刷 j o b 信号に付された送信元の情報、予め登録された印刷を許可された送信元であれば、上記印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行させるプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 8】 印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

上記印刷 j o b 信号の送信元が予め登録された印刷を許可された送信元でなければ、上記印刷 j o b 信号を廃棄させるプログラムを更に記憶した請求項 1 7 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 9】 印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

上記印刷 j o b 信号の送信元が予め登録された印刷を許可された送信元でなければ、上記印刷 j o b 信号が許可されていない送信元から受信したことを知らせ、使用者の廃棄指示に応じ、上記印刷 j o b 信号を廃棄させるプログラムを更に記憶した請求項 1 7 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は印刷装置に関し、特に意図しない相手からの印刷物を受け取ることを拒否でき、必要な印刷物が他の印刷物に紛れ込んで見落とすことのないようにした装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

最近、複数のホストコンピュータとプリンタとをネットワーク回線で接続し、いずれかのホストコンピュータからプリンタに印刷 J o b 信号を送信すると、プリンタでプリントを実行するようにした印刷システムが提案されている。

【0 0 0 3】

例えば、ネットワーク環境において、複数の使用者が1台のプリンタを共用するようにしたシステムがある（例えば、特開平8-2790号公報、特開平8-2792号公報、等参照）。かかるシステムではプリンタが複数の排出ピンを備えていると、各排出ピンを使用者毎に割り当てることにより、各々のメールボックスのように利用でき、仕分け作業を軽減できるという利点がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記従来の印刷システムではプリンタに様々な送信元からの印刷Job信号が届くと、知らないうちに印刷が実行されるので、電子メール等と同様に、自分の意図しない相手から印刷物を送られたり、種々な印刷物が送られてきたりする結果、重要な印刷物が他の印刷物に紛れて見落とされるおそれがある。

【0005】

本発明はかかる問題点に鑑み、意図しない相手からの印刷物を受け取ることを拒否でき、必要な印刷物が他の印刷物に紛れ込んで見落とすことのないようにした印刷装置を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

そこで、本発明に係る印刷装置は、データ処理装置から送信されてきた送信元の情報が付された印刷Job信号に基づいて印刷を行うようにした印刷装置において、印刷を許可された印刷Job信号の送信元を登録する登録手段と、データ処理装置から送信されてきた印刷Job信号を受信し、該印刷Job信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、上記送信元が登録されているときに上記受信した印刷Job信号に基づいて印刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】

本発明の特徴の1つは印刷を許可した送信元を登録しておき、印刷Job信号を受け取ると、印刷Job信号に付された送信元の情報から送信元が登録されているかを判別し、登録されている場合に印刷を実行するようにした点にある。これにより、自分の意図しない相手方からの印刷物、例えばダイレクトメールやい

たずらメール等を受け取らずに済むばかりでなく、重要な印刷物が他の印刷物の間に紛れ込むのを防止できる。

【0008】

データ処理装置は信号を処理して印刷 j o b 信号を出力するものであればどのようなものでもよいが、一般的にはホストコンピュータが用いられる。このデータ処理装置は1つでもよく、複数であってもよい。また、印刷装置は1つでもよく、複数であってもよい。データ処理装置と印刷装置との間はどのような手段で接続されていてもよく、例えばネットワーク回線で接続されることができる。印刷装置は排出ピンを備えるが、該排出ピンは1つでもよく、複数でもよい。複数の排出ピンを備えている場合、複数の各排出ピンに使用者を割当て、各使用者毎に送信元を登録すると、重要な印刷物が他の印刷物に紛れ込まないメールボックスとして利用できる。

【0009】

送信元が登録されていない場合、受信した印刷 j o b 信号は印刷せずにそのまま廃棄することができる。即ち、判別手段で送信元が登録手段に登録されていないと判別されたときに印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段を更に備えるようにしてもよい。

【0010】

また、送信元が登録されていない場合、受信した印刷 j o b 信号はそのまま廃棄するのではなく、一旦保存し、排出ピンの使用者に印刷するか、廃棄するかの判断を委ねるようにしてもよい。

【0011】

即ち、判別手段で送信元が上記登録手段に登録されていないと判別されたときに印刷 j o b 信号を保存する保存手段と、印刷を許可されていない送信元からの印刷 j o b 信号を受信したことを知らせる告知手段と、使用者の印刷指示に応じ、保存手段に保存された印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行する印刷手段と、使用者の廃棄指示に応じ、保存手段に保存されている印刷 j o b 信号を廃棄する廃棄手段とを更に備えるようにしてもよい。

【0012】

この場合、保存手段は登録手段に用いられるメモリ等と兼用してもよいが、ハードディスク等の補助記憶装置を用いるのがよい。告知手段はどのような告知方法でもよく、例えばディスプレイへの表示やランプの点灯、さらには告知音の発生等を採用できる。印刷手段は送信元が登録されている場合の印刷手段と兼用してもよく、別個に構成してもよい。

【0013】

印刷 job 信号は印刷データや印刷制御信号以外に、送信元を示す情報、さらに複数の排出ピンを備える場合には印刷物を排紙すべき排出ピンを特定する情報を含むことが肝要である。

【0014】

また、登録手段、判別手段、廃棄手段、保存手段、告知手段は印刷装置内に設けてもよく、データ処理装置側に設けてもよく、両者に適宜設けるようにしてもよい。即ち、本発明は印刷システムとして構成することもできる。

【0015】

即ち、本発明に係る印刷システムは、複数のデータ処理装置と、上記データ処理装置の1つから送信されてきた送信元の情報が付された印刷 job 信号に基づいて、印刷を行うようにした印刷装置を備えた印刷システムにおいて、印刷を許可された印刷 job 信号の送信元を登録する登録手段と、上記印刷 job 信号から送信元を確認して該送信元が上記登録手段に登録されているか否かを判別する判別手段と、上記送信元が登録されているときに上記受信した印刷 job 信号に基づいて印刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする。

【0016】

更に、プリンタドライバをデータ処理装置又は印刷装置にインストールことによって上述の処理を実行させるようにすることもできる。

【0017】

即ち、本発明によれば、印刷システムを制御するプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、印刷すべき印刷 job 信号に付された送信元の情報、予め登録された印刷を許可された送信元であれば、上記印刷 job 信号に基づいて印刷を実行させるプログラムを記憶したコンピュータ読み取

り可能な記録媒体を提供することができる。

【0 0 1 8】

この記録媒体には印刷 j o b 信号の送信元が予め登録された印刷を許可された送信元でなければ、印刷 j o b 信号を廃棄させるプログラムを更に記憶させるようにしてもよい。また、上記記録媒体には印刷 j o b 信号の送信元が予め登録された印刷を許可された送信元でなければ、印刷 j o b 信号が許可されていない送信元から受信したことを知らせ、使用者の廃棄指示に応じ、印刷 j o b 信号を廃棄させるプログラムを更に記憶させることもできる。

【0 0 1 9】

【作用及び発明の効果】

本発明によれば、データ処理装置から印刷 j o b 信号が送信されてくると、印刷 j o b 信号から送信元が確認され、これが予め登録されていたか否かが判別され、登録されている場合に印刷 j o b 信号に基づいて印刷が実行される。

【0 0 2 0】

従って、予め登録した相手からの印刷物のみを受け取ることができ、知らない相手からの印刷物、例えばダイレクトメールやいたずらメール等を受け取らずに済む。さらには、印刷装置を使用できる者を登録した特定の者に限定できる結果、無駄な印刷を未然に防止して印刷コストの削減を実現できる。

【0 0 2 1】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を図面に示す具体例に基づいて詳細に説明する。図 1 ないし図 1 0 は本発明に係る印刷装置の好ましい実施形態を示す。図 1 は本例の印刷装置を含む印刷システムの構成を示す。図 1 において、本例の印刷システム 1 0 はプリンタ（印刷装置）1 0 0 と複数のホストコンピュータ（データ処理装置）2 0 0 ・ ・ ・ とがネットワーク回線 3 0 0 で接続され、いずれのホストコンピュータ 2 0 0 ・ ・ ・ からでもプリンタ 1 0 0 に印刷 j o b 信号を送信して印刷できるようになっている。

【0 0 2 2】

図 2 はホストコンピュータ 2 0 0 の機能ブロックを示す。ホストコンピュータ

200はパーソナルコンピュータ本体210、各種の設定や指示を行うためのキーボード（登録手段）211、表示を行うためのディスプレイ212、登録内容を保持するメモリ213、各種の演算処理を行うCPU214、音声を出力するスピーカ215、ハードディスク等の補助記憶装置216から構成されている。

【0023】

図3はプリンタ100の機能ブロックを示す。プリンタ100はハードディスク等の補助記憶装置（保存手段）114、プリンタ本体（印刷手段）110、各種の設定や表示をするためのオペレーションパネル（登録手段、告知手段）111、登録内容を保持するメモリ（登録手段）112、処理を行うためのCPU（判別手段、廃棄手段）113から構成されている。

【0024】

フロッピーディスク400はプリンタ100にインストールされるソフトウェアを記録した記録媒体である。このフロッピーディスク400には図10と図11にて後述するプリンタ100における処理が記憶されており、プリンタ100にインストールすることにより、印刷システム10に図10と図11で示す処理を実行可能とする。

【0025】

図4はプリンタ100の外観を示す。プリンタ100では図4の(a)に示されるように装置本体120に複数の排出ビン121が設けられ、各排出ビン121には図4の(b)に示されるようにビン番号が付与されている。

【0026】

図5はプリンタ100の各排出ビン121毎に使用者を設定した例を示す。図5では排出ビン121のビン番号1に使用者A、ビン番号2に使用者B、ビン番号3に使用者C、ビン番号4に使用者D、ビン番号5に使用者Eと設定されている例が示されているが、他の各排出ビン121についても同様に設定される。これらの設定はホストコンピュータ200のキーボード211又はプリンタ100のオペレーションパネル111で行うことができ、設定情報はプリンタ100のメモリ112に保存される。

【0027】

図6は設定した各使用者毎に、印刷を許可された送信元を設定した例を示す。
図6では使用者Aに対しては送信元B、D、Eが設定され、使用者Bに対しては送信元Dが設定され、使用者Cに対しては送信元A、B、D、Eが設定されているが、他の使用者についても同様に設定される。

【0028】

ここで登録されている送信元以外から印刷job信号が送られて来た場合、印刷を行わず、一旦印刷job信号を補助記憶装置に保持し、使用者に印刷するか廃棄するかを判断させるようになっている。

【0029】

例えば、使用者Aの場合、送信元B、D、Eから印刷Job信号が送られてくると、印刷を実行するが、それ以外、例えば送信元Cから印刷Job信号送られてくると、印刷を行わず、使用者Aに対してそれを告知するようになっている。告知の種類は音、音声、メッセージ等があり、告知の方法にはスピーカー、ダイアログ、E-mail、ステータスマニター等がある。これらの設定はホストコンピュータ200のキーボード211又はプリンタ100のオペレーションパネル111で行うことができ、その設定情報はプリンタ100のメモリ112に保存される。なお、メッセージが音や音声の場合、スピーカーを設ける必要があるが、プリンタ本体110には各種のメッセージを音で知らせるスピーカーが内蔵されていることがあるので、これを利用してもよい。

【0030】

図7は図5に示される排出ビン121に対する使用者A、B・・・の設定及び図6に示される送信元の設定をホストコンピュータ100側で行う場合の例を示す。使用者に割り当てられた登録名に対し、使用排出ビン121のビン番号の設定、登録送信元にのみ印刷を許可する機能を使用するか否かの設定、印刷を許可する送信元の設定を行うようになっているが、印刷を許可する送信元の追加及び削除も行うことができる。図7では登録名Aに対し、使用ビン番号が1、機能を使用する、送信元登録欄にB、D、Eが設定されている。

【0031】

図8は図5に示される排出ビン121に対する使用者A、B・・・の設定及び

図6に示される送信元の設定をプリンタ100のオペレーションパネル111で行う場合の例を示す。使用者に割り当てられた登録名に対し、使用排出ビン121のビン番号の設定、登録送信元によりのみ印刷を許可する機能を使用するか否かの設定、送信元登録者の設定を行うようになっている。図8では“登録名：A”、“使用ビン：1”、“登録者：B、C、E”、“機能：有効”が設定されている。これらの設定はオペレーションパネル111のキーの組み合わせによって行うことができる。

【0032】

図9はダイアログ表示のメッセージ例を示す。図9では“登録者以外から印刷jobを受信しました。印刷を行いますか？ いいえを選ぶと印刷jobを廃棄します。”“印刷job送信者 C”のメッセージが表示されている。使用者は送信者を確認し、“はい（Y）”又は“いいえ（N）”を選択することにより、印刷を行うか、印刷jobを廃棄するかを選択することができる。なお、上述のメッセージに代え、印刷jobのタイトルを表示するようにしてもよい。メッセージはプリンタ100のオペレーションパネル111に表示される。

【0033】

図10はプリンタ100における処理のフローチャートを示す。ホストコンピュータ200からプリンタ100に印刷job信号が送信されてくると、プリンタ100が印刷job信号を受信する（ステップS101）。この印刷job信号には印刷データ及び印刷制御信号の他に、送信元を示す情報及び印刷物を排紙すべき排出ビン番号の情報が含まれている。

【0034】

印刷job信号を受信すると、プリンタ100は受信した印刷job信号から印刷物の宛先、即ち出力しようとする排出ビン121のビン番号を確認するとともに（ステップS102）、印刷job信号から送信元を確認し（ステップS103）、メモリ112の記憶内容と上記確認した印刷物の宛先であるユーザ名とから、登録されている送信元登録者名を確認し、上記受信した印刷job信号の送信元が送信元登録者名の中に含まれているかどうかをプリンタ100のCPU113にて判定する（ステップS104）。

【0035】

一致していた場合、印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行し、印刷 j o b 信号によって指定された番号の排出ピンに排紙する（ステップ S 1 0 5）。他方、一致していなかった場合には図 9 に示されるようなメッセージを表示し、ユーザーに印刷を行うか印刷 j o b を廃棄するかの判断を求め（ステップ S 1 0 7、ステップ S 1 0 8）、ユーザーが印刷を選択した場合には印刷 j o b 信号に基づいて印刷を実行して処理を終了する一方、印刷を選択しなかった場合には印刷 j o b を廃棄して（ステップ S 1 1 0）、処理を終了する。

【0036】

図 1 1 は本発明の他の実施形態を示す。本例では登録されていない送信元から印刷 j o b 信号を受信した時に、ユーザーの判断を待たないで印刷 j o b を廃棄するようにしている。即ち、図 1 0 のステップ S 1 0 7～ステップ S 1 1 0 に代え、受信した印刷 j o b 信号の送信元が送信元登録者名と一致するか否かを判定し（ステップ S 1 0 4）、一致していなかった場合には直ちに印刷 j o b を廃棄し（ステップ S 1 0 6）、処理を終了するようになっている。

【0037】

図 1 2 は本発明に係る印刷システム 1 0 の更に他の実施形態を示す。本例の印刷システム 1 0 ではプリンタ 1 0 0 とプリントサーバー用コンピュータ（データ処理装置）2 0 1 とが接続され、プリントサーバー用コンピュータ 2 0 1 と複数のホストコンピュータ 2 0 0・・・とがネットワーク回線 3 0 0 で接続されており、何れのホストコンピュータ 2 0 0・・・からでもプリントサーバー用コンピュータ 2 0 1 を経由して、プリンタ 1 0 0 に印刷 j o b 信号を送信して印刷できるようになっている。

【0038】

本例では前述の登録手段、判別手段、廃棄手段、保存手段、告知手段をプリントサーバー用コンピュータ 2 0 1 に設けることができる。即ち、プリントサーバー用コンピュータ 2 0 1 のキーボード 2 1 1 を利用し、印刷を許可された送信先を出力先毎にメモリ 2 1 3 に登録する。ホストコンピュータ 2 0 0・・・の何れかから印刷 j o b 信号が出力されると、プリントサーバー用コンピュータ 2 0 1

のCPU 214によってその出力先に対応した送信先がメモリ 213に登録されているかが判断され、登録されていれば、受信した印刷 job 信号に基づいてプリンタ 100で印刷が実行される。

【0039】

他方、上記送信先が登録されていなければ、プリントサーバー用コンピュータ 201のディスプレイ 212にメッセージが表示され、ユーザーに印刷を行うか印刷 job を廃棄するかの判断を求める。ユーザーが印刷を選択すれば、印刷が実行される一方、印刷を選択しなかった場合にはプリントサーバー用コンピュータ 201のCPU 214によって印刷 job が廃棄される。

【0040】

上記では登録手段、判別手段、廃棄手段、保存手段、告知手段をプリントサーバー用コンピュータ 201に設けるようにしたが、登録手段、判別手段、メッセージ手段は複数のホストコンピュータ 200・・・の各々に設けるようにしてもよい。

【0041】

即ち、複数のホストコンピュータ 200・・・の各々のキーボード 211を利用し、印刷を許可された送信元を各コンピュータ 200のメモリ 213に出力先毎に登録する。ホストコンピュータ 200の何れかから印刷 job 信号が出力されると、その印刷 job 信号の出力先に対応したホストコンピュータ 200に情報が伝えられる。その情報から、送信元のホストコンピュータ 200のCPU 214によってその出力先に対応した送信先がメモリ 213に登録されている否かが判断される。登録されていれば、印刷 job 信号に基づいてプリンタ 100で印刷が実行される。

【0042】

送信先が登録されていなければ、送信元のホストコンピュータ 200のディスプレイ 212にメッセージが表示され、ユーザーに印刷を行うか印刷 job を廃棄するかの判断を求める。ユーザーが印刷を選択すれば、印刷が実行される。印刷を選択しなかった場合にはホストコンピュータ 200のCPU 214によって印刷 job が廃棄される。

【0043】

また、プリントサーバー用コンピュータ201を複数のホストコンピュータ200・・・と同様の使い方をし、登録手段、判別手段、廃棄手段、保存手段、告知手段をプリントサーバー用コンピュータ201にも設けてもよい。

【0044】

以上、本発明に係る印刷システムの各実施形態について説明してきたが、本発明は上記の実施形態に限定されないのは勿論であり、特に登録手段、判別手段、廃棄手段、保存手段、告知手段は各々データ処理装置及び印刷装置のいずれに設けてもよい。また、フロッピーディスク400はホストコンピュータ200又はプリントサーバー用コンピュータ201にインストールすることにより、印刷システム10に図10及び図11で示した処理を実行させるようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る印刷システムの好ましい実施形態を示す構成図である。

【図2】 上記印刷システムにおけるホストコンピュータの構成を示す機能ブロック図である。

【図3】 上記印刷システムにおける印刷装置の構成を示す機能ブロック図である。

【図4】 上記印刷装置の外観及びその排出ピンを示す図である。

【図5】 上記排出ピンに対する使用者の設定例を示す図である。

【図6】 上記使用者についての送信元の設定例を示す図である。

【図7】 上記ホストコンピュータにおいて図5及び図6の内容を設定する方法の1例を示す図である。

【図8】 上記印刷装置において図5及び図6の内容を設定する方法の1例を示す図である。

【図9】 印刷完了後に表示されたメッセージの1例を示す図である。

【図10】 上記印刷装置の処理のフローチャートを示す図である。

【図11】 他の実施形態における上記印刷装置の処理のフローチャートを示す図である。

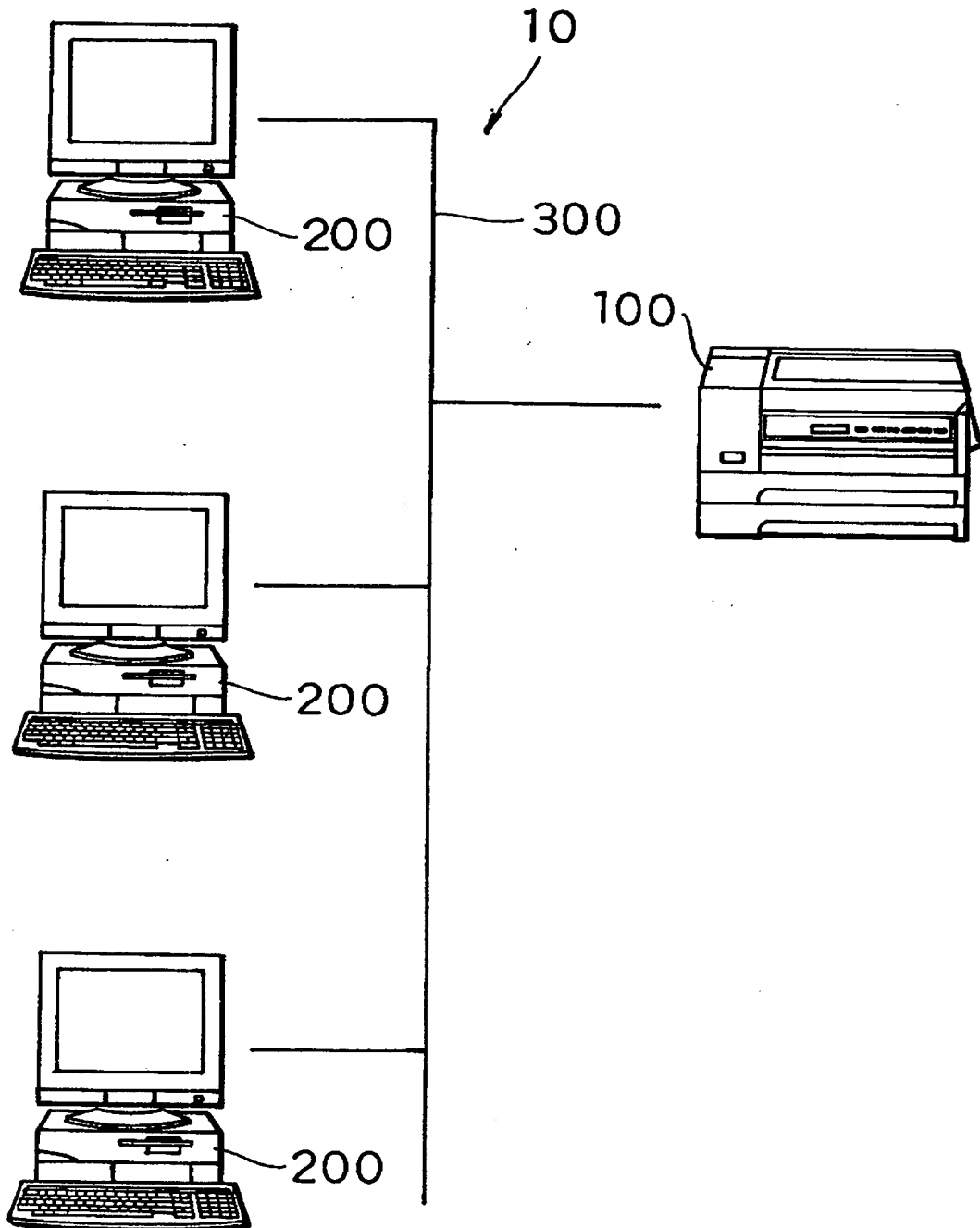
【図 1 2】 本発明に係る印刷制御システムの更に他の実施形態を示す構成図である。

【符号の説明】

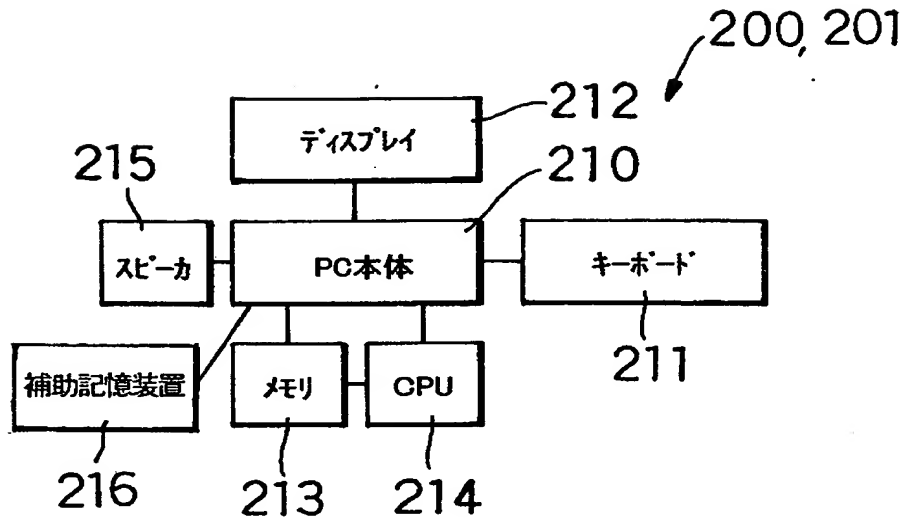
1 0	印刷システム
1 0 0	プリンタ（印刷装置）
1 1 0	プリンタ本体（印刷手段）
1 1 1	オペレーションパネル（告知手段、登録手段、廃棄手段）
1 1 2	メモリ（登録手段）
1 1 3	C P U（判別手段、廃棄手段）
1 1 4	補助記憶手段（保存手段）
2 0 0	ホストコンピュータ（データ処理装置）
2 0 1	プリントサーバー用コンピュータ（データ処理装置）
2 1 1	キーボード（登録手段、廃棄手段）
2 1 2	ディスプレイ（告知手段）
2 1 3	メモリ（登録手段）
2 1 4	C P U（判別手段、廃棄手段）
2 1 6	補助記憶装置（保存手段）
4 0 0	フロッピーディスク（記録媒体）

【書類名】 図面

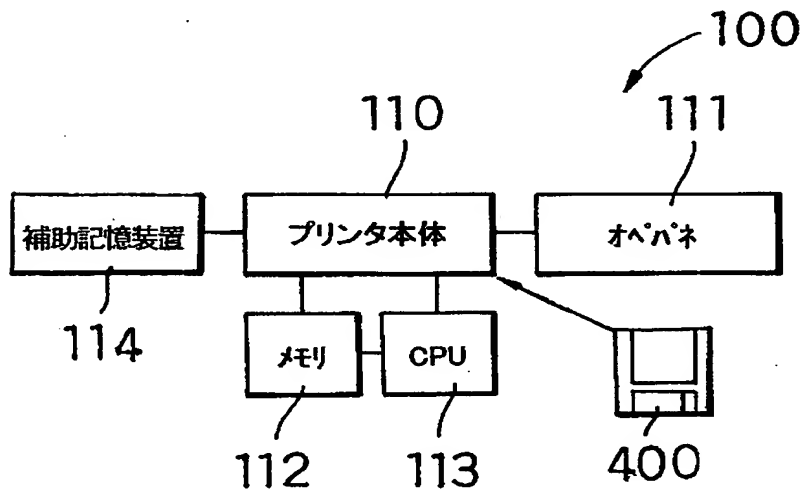
【図 1】



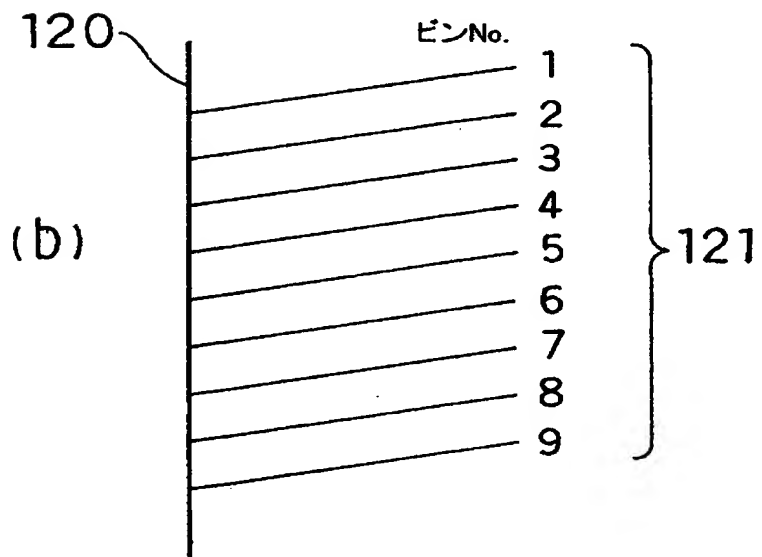
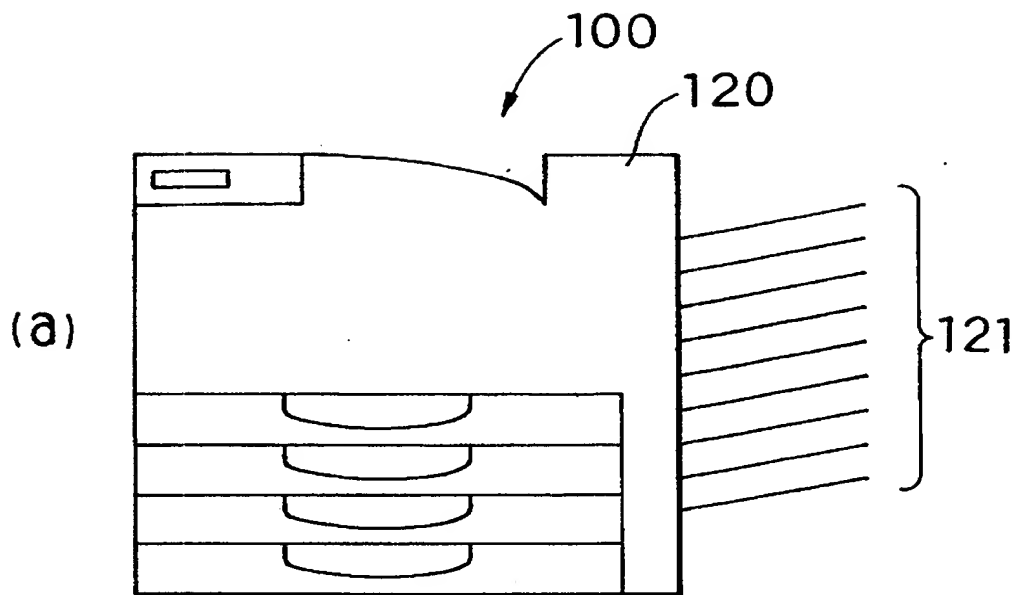
【図 2】



【図 3】



【図4】



【図 5】

ピンNo.	使用番号
1	A
2	B
3	C
4	D
5	E

【図 6】

使用者	送信元登録番号
A	B D E
B	D
C	A B D E

【図 7】

あなたの登録名 : A

使用ピンNo.	1	機能を使用する	✓
---------	---	---------	---

送信元登録欄 (印刷許可)	B D E
------------------	-------------

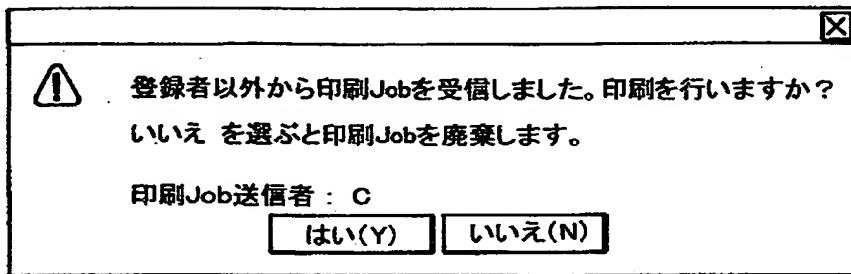
追加 削除

【図 8】

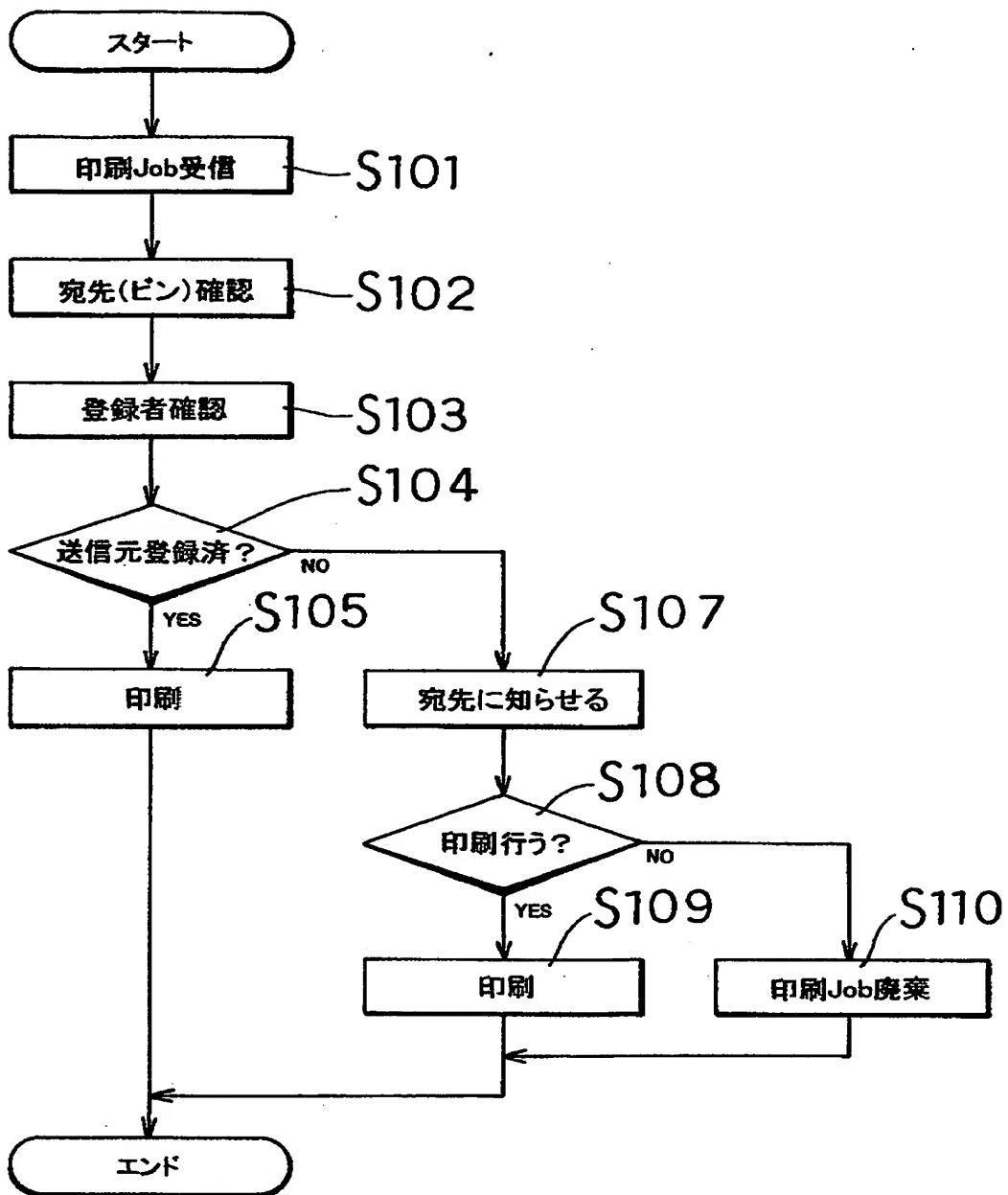
登録名 : A 機能 : 有効
 使用ピン : 1
 登録者 : B, C, E

On Line	Proceed	Tray1 Paper	Shift
Menu	Item	Select	Enter
AB CDEFG	HIJKLMN	OPQRST	UVWXYZ
Entry	Cancel		

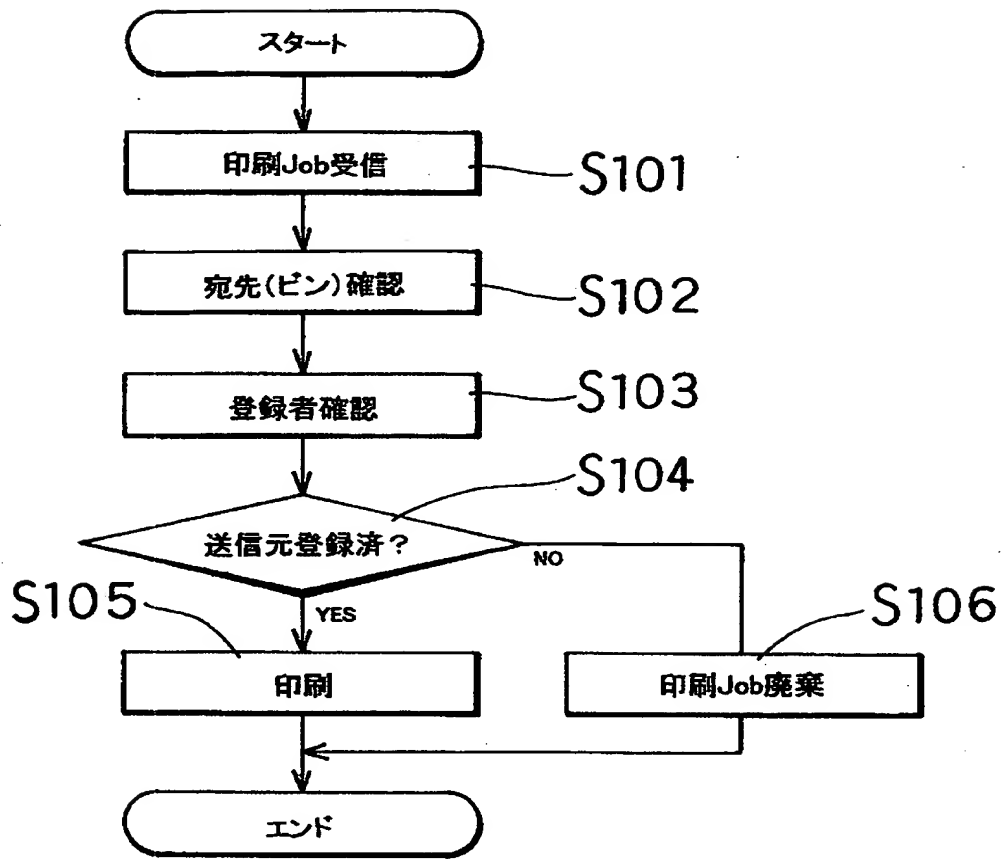
【図 9】



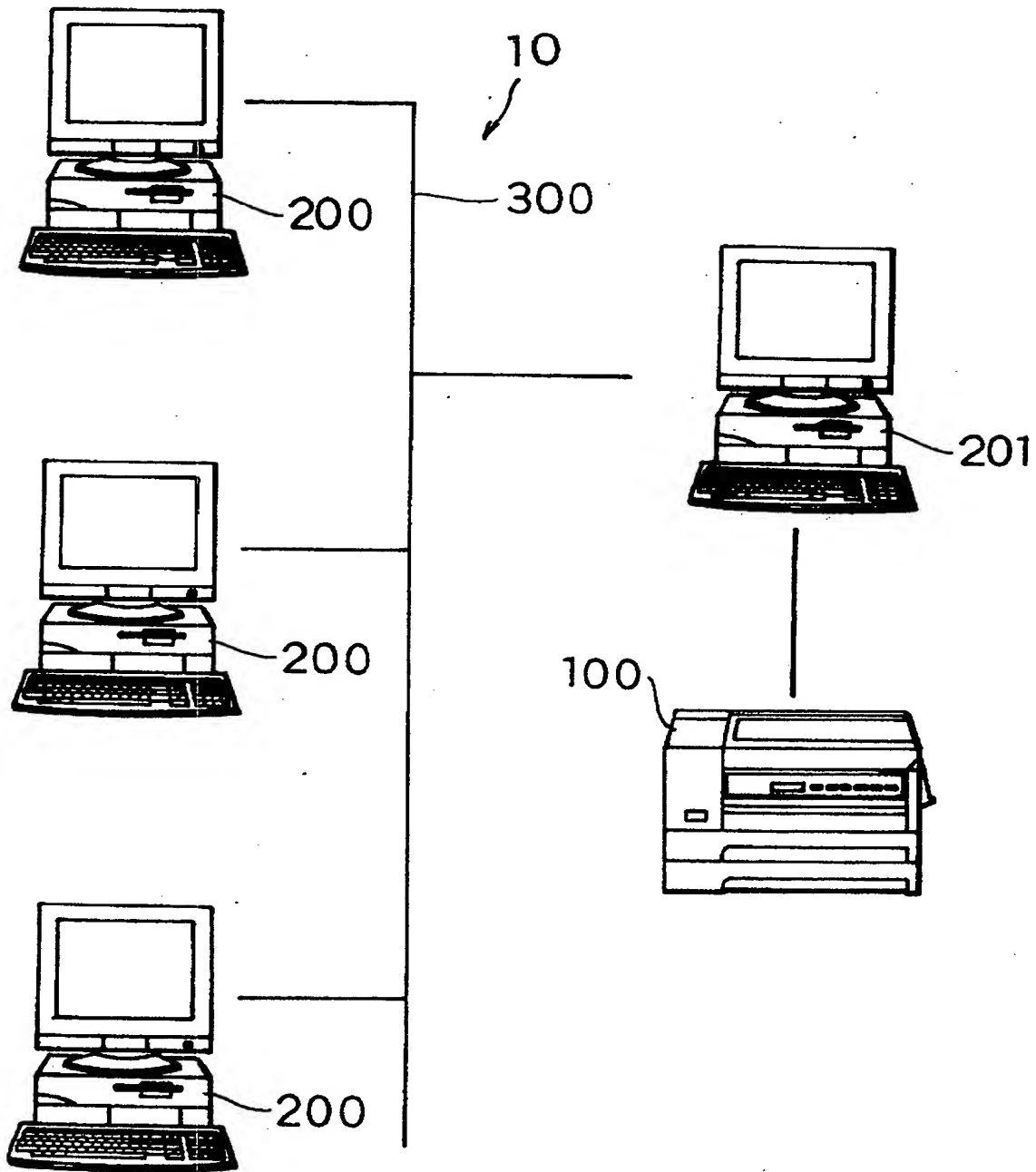
【図 10】



【図 11】



【図 1 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 意図しない相手からの印刷物を受け取ることを拒否でき、必要な印刷物が他の印刷物に紛れ込んで見落とすことのないようにする。

【解決手段】 データ処理装置(200)から送信されてきた印刷 j o b 信号に基づいて印刷を行う印刷装置(100)において、登録手段(111,112)に印刷を許可された送信元を登録し、受信した印刷 j o b 信号から送信元が登録されているか否かを判別手段(113)で判別し、送信元が登録されているときにのみ印刷手段(110)で印刷を実行する。

【選択図】 図 1 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル
氏 名 ミノルタ株式会社